

産業建設常任委員会 視察研修報告

(期間) 1月16日～18日
(目的及び視察地)

①山ウドの概要と栽培について

(宮城県蔵王町)

②6次産業の取り組みについて

(宮城県南郷町)

③東日本大震災の被災状況について

(宮城県石巻市)

①山ウドの概要と栽培
蔵王山の麓で栽培、土壌条件は特に選ばず、労働力は、過重な負担が伴わない体系で、収穫期間は3ヵ月で、収穫と出荷に半日を要するぐらいである。10a当りの販売額目標は、1,000千円。

②近代農業の経営により、労働力の余剰が発生し、雇用の場が半減、これに目を向け6次産業への取り組みが始められ、22年実績で農産物直売所の利用者317,400



▲6次産業で活性化

人、販売額4億2千6百万円。更にこれに併設し「農産加工」と「農家レストラン」を経営され、活き活きとした華やかな店構えであった。

③石巻市沿岸部の南浜地区は約1,700戸の住宅街。大津波は、6mの高さで襲来に、大規模な火災が追い打ちをかけ、粉々に砕け散った家、焼け焦げてひしゃげた車等・・・確かにあった暮らしの残骸が、今なおむごたらしく積み重ねられ、ガレキの山には言葉が失った。

議会運営委員会 視察研修報告

(期間) 1月21日～22日
(目的及び視察地)

○議会改革と議会運営について

(山口県下関市)

下関市議会へ、主に議会基本条例で定める市民報告会についてと、議会中のテレビ放映やインターネット配信等について視察研修を行った。

下関市議会では議会基本条例の施行に伴い、それまで本会議のみの放送を行っていたが、平成24年4月からは委員会の模様もライブ中継と録画放送を開始し、本会議、一般質問と合わせて庁外への配信を実施されていた。

また、市民と議会とのつどいが実施されており、実施回数年2回ということや対象は連合自治会ということなど、主だった方針は議会運営委員会で決定し、班編成及

び班の構成等は常任委員会及び特別委員会の正副委員長で構成されていた。



▲視察研修の模様

議会広報編集特別委員会 視察研修報告

（期間） 1月24日～25日

（目的及び視察地）

○6次産業化を目指す

農業の取り組み

（熊本県天草市）

○議会広報について

（長崎県南島原市）

天草市では、地場の食品加工業者が自らイチジクの栽培を行い、菓子やジャムなどに原料として使用し、販売量も徐々に増加している。今後は耕作放棄地の活用などで生産規模の拡大を展望しているとの説明を受けた。

次に、平成22年より、『オリーブの島』づくりに向け産官学で取り組みを行っている説明を受け、その後、栽培している農園にも現地視察に向かった。敷地内に2台の搾油機を備えた施設を建てられていた。将来的には「オリーブで生き生き



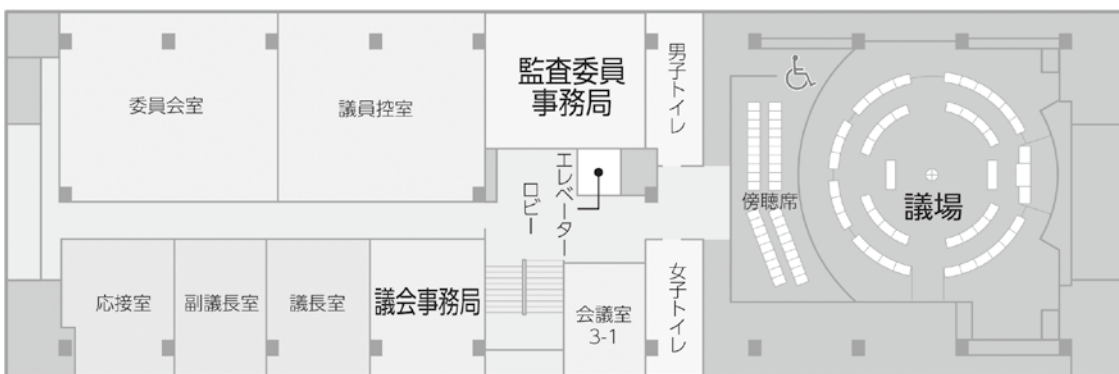
▲南島原市での研修

とした地域を築こう。」と指針を立ててあった。

南島原市は、平成18年に8町が合併し誕生、人口約5万1千人。小城市と類似点も多く、意見交換も交え、議会だよりの視察研修を行った。

小城市との大きな違いは、一般質問には1議員が1ページを使い、写真や表を多く用いて、見やすく工夫もしてあったが、反面、ページ数も多くなるため、経費面では、かさんでいた。

議場が新しくなりました



小城市役所 東館 3階

東館

本年1月、本庁舎移行にともない、旧三日月庁舎をリニューアルしました。市役所東館の3階に、議場も移転し、本3月議会より新しい議場にて開催されました。

今号の表紙に、議場と委員会室のスナップを掲載していますが、3階には、他に議会事務局や議員控室や会議室もあります。

本会議は、どなたでも傍聴できますが、議場入口で、規定の用紙に住所と氏名をご記入の上、入場してください。委員会の傍聴は、委員長の許可が必要ですので、事前に議会事務局までお知らせください。

市民の皆様のために、より開かれた議会づくりに努力してまいります。多くの方に傍聴にお越しいただくことを期待しております。